

2024年11月15日

ハウス食品グループで初となるソーシャルローンによる資金調達

ハウス食品グループ本社株式会社（本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：浦上 博史）の連結子会社であるハウスフーズホールディング USA 社（本社：米国カリフォルニア州、社長：堂上 貴幸）は、11月15日に国内金融機関3行が参加するシンジケートローン契約、株式会社国際協力銀行との貸付契約をそれぞれ締結しました。

当社は、Loan Market Association（以下、「LMA」）等の「ソーシャルローン原則（SLP）」及び金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（SBGLs）2021年版」に基づき、本年11月に「ソーシャルローン・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターから「セカンドオピニオン」を取得しました。本件は、当社がソーシャルローン・フレームワークを策定してから初めての資金調達です。

当社グループは第七次中期経営計画において「4系列バリューチェーン（以下、「VC」）へのチャレンジ」を掲げ、「スパイス系 VC」「機能性素材系 VC」「大豆系 VC」「付加価値野菜系 VC」の4つを当社の提供価値である「食で健康」をお届けする領域と定め、4系列 VC による成長実現に向けて取り組みを進めております。2024年4月からスタートした第八次中期経営計画においては、「グローバルな VC 構築で成長をめざす」を新たに掲げ、経営資源を「VC 最適」で意思決定できる組織へ順次移行を進めていくことで持続可能な成長をめざしています。

4系列 VC の一つである大豆系 VC においては、1983年より米国にて豆腐事業を展開していますが、アジア系市場を中心に堅調に成長を続け、近年では健康意識の高まりに加え、地球環境保護などの観点から植物性由来食品（Plant-Based Food）（以下、「PBF」）の潮流にも支えられ、米系市場への販売が拡大しています。このような中、ハウスフーズホールディング USA 社は、大豆系 VC の更なる成長に向けた戦略的パートナーとして、2022年9月にキーストーンナチュラルホールディングス社（以下、「キーストーン社」）の持分を取得し当社の連結子会社としましたが、本件は当該持分取得資金の一部に充当する資金調達となります。

当社グループは CSR 方針に掲げる「3つの責任」のうちの「社会への責任」の重要テーマに「循環型モデルの構築」を設定し、持続可能な食品バリューチェーンの構築をめざしています。「大豆系 VC」における豆腐を中心とする PBF 事業は欧米で顕在化している「食生活改善・未病対策」や世界の人口増加に伴う「タンパク質不足問題」のソリューションとなる可能性を有し、地球規模の環境課題や食課題の解決に寄与するものと考えています。

本件による資金調達により、大豆系 VC の中長期的な事業成長を企図するとともに、食を通じた「人と地球の健康」の実現に向けた取り組みをより一層加速させていきます。

【ハウスフーズホールディング USA 社の概要】

(1) 名称	House Foods Holding USA Inc.
(2) 所在地	7351 Orangewood Avenue, Garden Grove, California 92841
(3) 事業内容	米国子会社の統括
(4) 資本金	187,000 千米ドル
(5) 設立	2003 年 4 月

【資金調達の概要】

	シンジケートローン契約	株式会社国際協力銀行との貸付契約
契約締結日	2024 年 11 月 15 日	2024 年 11 月 15 日
借入金額	12,000 千米ドル	18,000 千米ドル
アレンジャー	株式会社みずほ銀行	—
コ・アレンジャー	株式会社三井住友銀行	—
参加金融機関	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱 UFJ 銀行	株式会社国際協力銀行

なお、第三者機関である株式会社格付投資情報センターから「セカンドオピニオン」が公表されていますので、ご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/socialfinance/index.html>

以上

参考

2022 年 9 月 16 日付プレスリリース

米国キーストーンナチュラルホールディングス社の持分取得（子会社化）に関するお知らせ

https://housefoods-group.com/newsrelease/pdf/220916_osirase.pdf

キーストーン社製品

